令和6年度 事業報告

1・事業方針

スポハラのない健全で楽しいスポーツ活動を基本方針として、全市民が生涯にわたりスポーツに親しみ健康な精神と体力維持に向けての生活基盤を築けるよう活動を推進してまいりました。

2・重点目標

- (1) 県民大会等への参加意識の高揚と顕彰事業の実施
- (2) 施設の管理と有効活用
- (3) 生涯スポーツの推進とスポーツ少年団活動への支援
- (4) 仙人峠マラソン大会等各種大会の開催支援
- (5) 加盟協会への活動支援

3・事業内容

(1) 県民大会等への参加意識の高揚と顕彰事業の実施

- 県民大会は従来通りに開催され、17競技、185名がエントリーし、参加料、旅費等を補助しました。
- 顕彰事業は予算を計上し、従来通り表彰式典を開催しました。
表彰式典は2月16日(日)、釜石市民ホール TETTO において行いました。(受賞者(団体含み)25件【功労賞1名、奨励賞20名に団体として4団体】)

(2) 施設の管理と有効活用

- 各施設の老朽化が目立ってきていますが市民の皆様が安全に利用出来るよう従来通り利用者目線に立った管理を進めてまいりました。
- 平田公園多目的グラウンドはソフトボールと少年硬式野球チーム(ボーイズ)が主に利用し、他各種大会の練習会場として利用しています。

(3) 生涯スポーツの推進とスポーツ少年団活動への支援

- 健康運動教室は市内全域に浸透し、年々参加者が増えていて、年間519回5,217名の参加がありました。
また、未就学児の教室も定期的で開催し、年間で61回714名が参加しました。
- スポーツ少年団は20団、団員339名、指導者83名の登録でした。

(4) 仙人峠マラソン大会等各種大会の開催支援

- 仙人峠マラソン大会は、10月27日(日)一般135名、高校生1名、計136名の参加者で実施しました。当日は選挙投票日と重なり、ボランティア、スタッフの減少が懸念されましたが、市内のスポーツ少年団員と保護者にも御協力頂き、盛大に行うことが出来ました。

(5) 加盟協会への活動支援

- 33協会が現在活動中ですが、高齢化による会員数の減少の他、役員のみで不足などから4協会(ゲートボール、銃剣道、ボート、なぎなた)が休部、活動停止状態となっております。
尚、今年も活動支援の為に奨励費を支給いたしました。